

平成30年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	長岡技術科学大学		
プログラム名称	グローバル超実践ルートテクノロジープログラム		
プログラム責任者	鎌土 重晴	プログラムコーディネーター	大石 潔

〔採択理由〕

本プログラムは、「材料科学」と「電気工学」を融合した根幹技術を「ルートテクノロジー」と定義し、長岡技術科学大学の特長とも言える工学系実践教育の実績を生かして、企業連携や国際連携を通じ国内外の最先端の現場を経験させることにより、新産業の創出に貢献できる情報システムに精通したタフなイノベティブ人材を育成するものである。今後人材のひっ迫が予想される当該分野において期待される新たなタイプの人材を育成するものであり、卓越性が高く、意欲的である。

学長のリーダーシップの下、専攻横断型の運営体制が整備されることとなっており、実現可能性が認められる。また、オープンイノベーションキャンパス構想等、産学共同研究の活性化により補助期間終了後の持続的・自律的な財源確保についても担保されているため、実効性が期待できるとともに、継続性・発展性が見込まれる。

長期インターンシップや共同工場による実務訓練制度等の実践教育、海外コンソーシアムと連携した反復実習など、学外リソースを取り込んだ形で作られたカリキュラム「グローバル超実践教育」は、これまでに構築された企業連携・国際連携の実績が活用され、学生の将来的なキャリアパスを見据えた実践的なプログラムとなっている。

クロスアポイントメントの教員が修了後も起業を継続支援する取組が既に行われており、また、卒業生・修了生同士の連携を生かした支援体制の構築を図るなど、生涯にわたりキャリアアップを支援する仕組みについても他の大学の参考となる取組であり、着実な実施を期待したい。